

I 本県観光の現状と課題

○ 現状

(1)北陸3県の観光の比較

	福井県	石川県	富山県
観光客入込数(実人数) ※1	1,034万人	2,163万人	1,780万人
入込数100万人以上の観光地数 ※1	1か所	3か所	3か所
地域ブランド力(魅力度ランキング) ※2	45位	11位	23位
外国人宿泊客数 ※3	2.8万人	31.2万人	12.6万人

出典 ※1 H25各県観光統計、※2 ブランド総合研究所「地域ブランド力調査2014」、※3 観光庁「H25宿泊旅行統計」

(2)本県観光を取り巻く現状

- ・人口減少社会の本格化
- ・訪日外国人旅行者数の増加
- ・高速交通体系の整備進展
- ・団体から個人へ旅行形態の変化
- ・インターネットの重要性の高まり
- ・小松空港の利活用の高まり

○ 課題

(1)地域間競争に打ち勝つ観光地の創造

本県の強みを極め、他の追随を許さない観光地を創る

(2)福井の魅力を活かした観光素材への磨き上げ

観光資源を掘り起し、磨き上げ、魅力ある観光素材として輝かせる

(3)広域連携の促進による発信力と周遊性の向上

テーマごとに各観光地を結びつけ、広域的な連携を促進し、発信力と周遊性を高める

(4)多様なニーズに応じた戦略的な情報発信の強化

戦略的な情報発信により、本県の魅力をより多くの人に伝え、観光意欲を喚起する

(5)観光客の満足度を高める地域づくりの推進

観光客の満足度を高め、「住んでよし、訪れてもよしの福井県」として心をつかむ

(6)選択と集中による外国人誘客の拡大

重点市場となる国・地域を明確にし、広域観光ルートの構築と受入環境の整備を進める

II 基本理念および目標

○ 基本理念

本県が誇る「美」や「学び」などを活かして、他の土地では味わうことができない「楽しさ」や「いやし」、「心のうらおい」、「知的好奇心の刺激」等の感動を与え、観光客が笑顔になる旅、心に残る旅を提供することにより、本県の観光を活気のある次のステージに引き上げます。

このため、「極める」、「輝かせる」、「繋げる」、「伝え、動かす」、「心をつかむ」、「世界から呼び込む」の6つを基本戦略として、本県観光の振興を総合的かつ戦略的に推進します。

○ 計画期間

平成27年度～平成31年度(5年間)

○ 基本目標

①観光客入込数	1,300万人(1,034万人)	[新ビジット目標] 1,100万人
②観光消費額	1,200億円(836億円)	1,000億円
③入込100万人以上の観光地	5か所(1か所)	—
④教育旅行受入数	10万人(6.9万人)	3万人
⑤外国人宿泊客数	10万人(2.8万人)	10万人

※()内は平成25年実績

III 基本戦略と戦略プロジェクト

基本戦略1 極める

日本一の恐竜研究機関である福井県立恐竜博物館を核に築いてきた福井県のダントツ日本一ブランド「恐竜」と、我が国最大の戦国城下町の遺構「一乗谷朝倉氏遺跡」の強みを極め、他の追随を許さない、誰もが認める観光地を創ります。

(1)世界に冠たる「恐竜王国 福井」に

(2)一乗谷朝倉氏遺跡を世界文化遺産に

基本戦略2 輝かせる

「海湖と歴史の若狭路」の魅力づくりをさらに進めるとともに、東尋坊、あわら温泉、大本山永平寺をはじめとして、県内各エリアで「100万人観光地」を創出します。また、「福井にしかない」、「福井ならではの」歴史・文化、自然、食、暮らしなどの観光素材を輝かせ、新しいツーリズムを推進します。

(1)「海湖と歴史の若狭路」の広域観光圏の確立

(2)「100万人観光地」の整備

(3)福井の食や食文化の魅力を全国、そして世界に

(4)新しい「福井ならではの」ツーリズムの推進

基本戦略3 繋げる

車による県内観光の周遊性を高めるとともに、観光地間をつなぐ公共交通機関などの利便性の向上を図ります。また、県内市町間や近隣府県との連携で情報発信力を強化することにより、県内外の観光地や観光素材を広域的につなげ、発信力と周遊性を高めます。

(1)県内交通アクセスの利便性の向上

(2)自治体間の広域連携・相互交流の推進

基本戦略4 伝え、動かす

エリアや顧客ニーズに応じた重点的なプロモーション活動、旅行会社や交通事業者等に対する継続的な「草の根営業」、インターネットを活用した情報発信を、効果的に組み合わせることにより、本県の旬の魅力をより多くの人に伝え、観光意欲を喚起します。

(1)首都圏等における新規顧客の開拓

(2)近隣府県からのリピーターの獲得

(3)県内交流の活性化と県民による情報発信

(4)インターネットを活用した情報の発信

基本戦略5 心をつかむ

県全体でのおもてなし活動の推進、地域の歴史・文化、自然を活かした景観の形成、着地情報や土産品の充実など、観光客にとって快適な旅行環境を整えることにより、「住んでよし、訪れてもよしの福井県」として、何度も訪れてもらえるよう観光客の心をつかみます。また、県民がふるさとに自信と誇り、愛着を持ち、人をひきつける観光のまちづくりを推進するため、地域の観光や観光産業を担う人材を育成します。

(1)感動を呼ぶおもてなし環境の整備

(2)着地情報の充実・発信

(3)カワイイ土産の開発

(4)地域や観光産業を担う人づくり

基本戦略6 世界から招く

東アジア・東南アジアを中心とした誘客宣伝活動を強化するとともに、北陸新幹線を利用して東京と京都・大阪間を周遊する「第2ゴールドルート」や近隣の空港を活かした外国人向けの広域観光ルートの構築、無料無線LANや多言語での看板表記などの受入環境の整備を進めます。

(1)各国・地域のニーズにあった誘客活動の強化

(2)外国人受入環境の整備

(3)イベント・コンベンションの誘致推進

IV 推進体制

福井県観光新戦略推進委員会を設置し、進捗管理を行うとともに、県、県民、民間事業者・民間団体、市町がそれぞれの役割を担いながら、戦略を推進します。